



インドネシアにおける SDGsに関わる活動

熊本県立大学
石橋 康弘

SDGsに関する事業実績

● JICAプロジェクト

－ JICA草の根事業（地域提案型）

- ・ 「小学校における環境保全活動の実施による持続可能な発展のための地域ネットワークづくり」
- ・ 2010年4月～2013年3月
- ・ 「南ジャカルタにおける持続可能な地域づくり活動のための地域ネットワーク構築事業（インドネシア共和国）－河川を核として－」
- ・ 2013年6月～2017年5月

これまでの活動事業

● インドネシア



- 途上国の持続可能な都市と農村のための有機性廃棄物循環システムの構築(2002.4.~2005.3)
- 廃棄物有効活用による循環型社会形成に向けた高校生教育プロジェクト(2006.4~2009.3)

● 国内



- ながさきエコスクールの取組み(2004.4~、現在39校)
- 小学校における「学校版ISO」の構築(2008.4~2009.3)
- 地域コミュニティに対する環境活動支援(2008.4~)
- 持続可能な社会づくりとそれらの教育(2008.4~)

事業目的・目標

ジャカルタ市のモデル小学校での環境マネジメントシステム(EMS)への取り組みを核とした地域コミュニティにおける持続可能な開発のための教育
(ESD: Education for Sustainable Development)の推進

小学校での環境教育
プログラムの確立

小学校でのEMS実施

環境リーダーの育成

地域コミュニティによる
環境活動への取り組み

関係者間のネットワークの確立

ESD

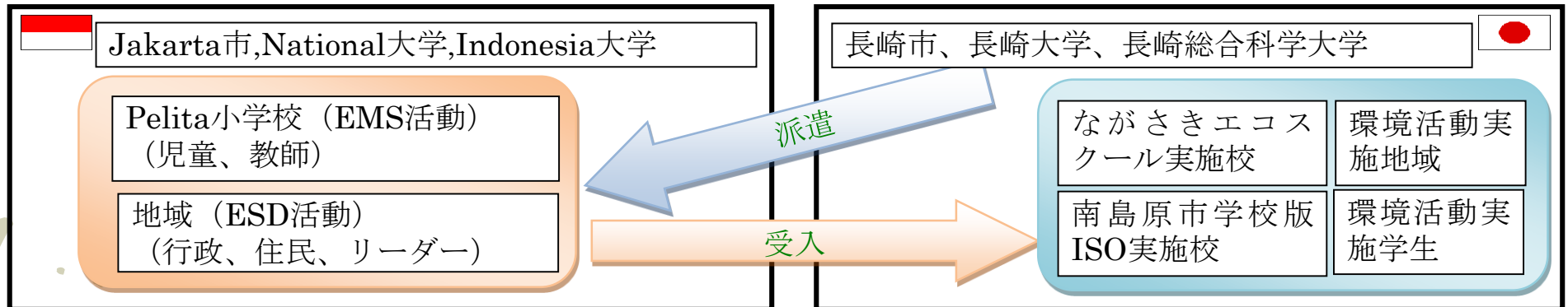
事業関係者

事業対象者

- National大学(現地総括)
- Indonesia大学
- Pelita小学校(モデル校)
- 小学校、地域関係者
- 南ジャカルタ市

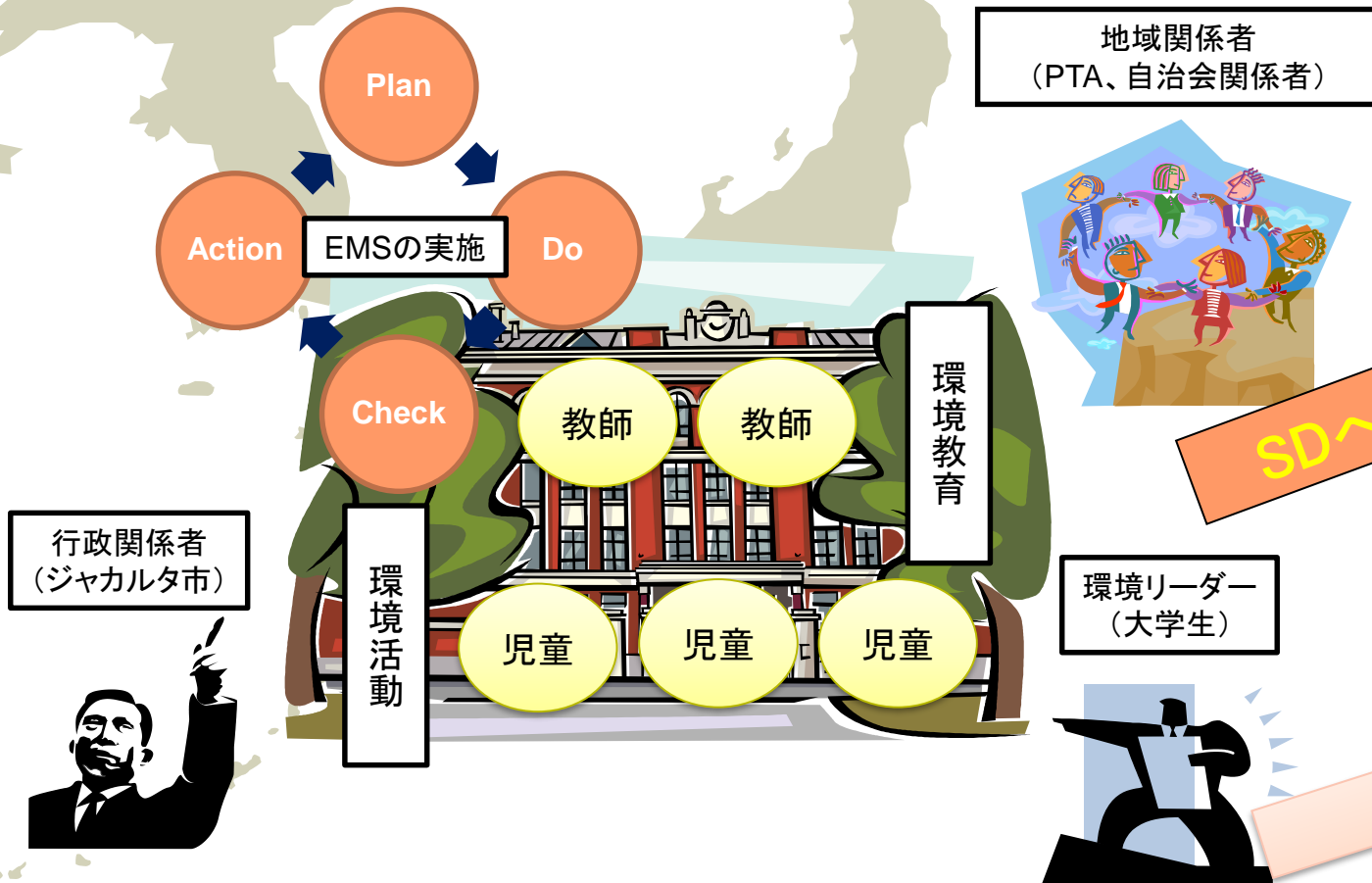
事業実施者

- 長崎市
- 長崎大学、熊本県立大学、長崎総合科学大学
- 小学校
 - ながさきエコスクール
 - 南島原市立有馬小など
- コミュニティ



事業展開

ESDに向けた関係者間のネットワークづくり

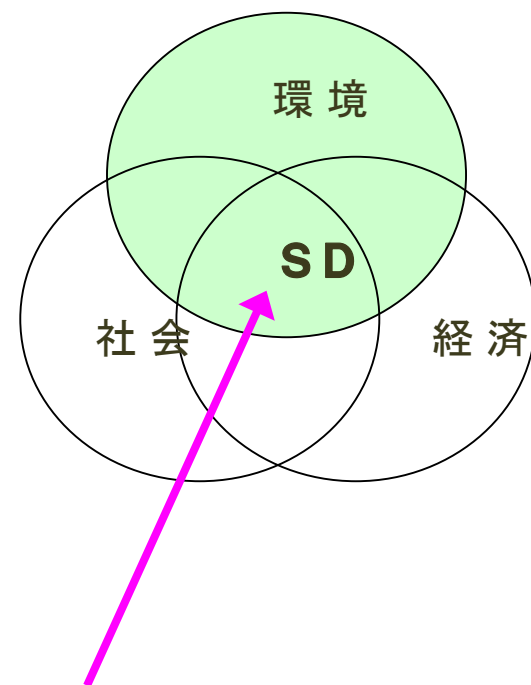


メリットと将来展開

- **パートナーシップ型協力の枠組みを開発**
押しつけではなく、インドネシアの持続可能な発展に寄与、
お互いの経験やノウハウの交流により持続可能な開発に貢献
- **研修生受け入れ時の交流、ワークショップ、情報発信等により、自治体の環境保全活動を再認識することにつながり、環境保全活動の促進、国際協力、国際交流の推進に資する。**
- **自治体は、事業遂行のノウハウを習得して、友好都市等への地域提案型へ発展が可能。**
- **大学は、事業遂行の中で更なる課題と問題点を整理して、次の草の根技術協力(パートナー型)へ発展が可能。**
- **大学等の連携による学際的アプローチのノウハウを、長崎市を始めとした自治体における地球環境保対策、地球温暖化対策等の具体的施策の推進に資する。**

持続可能な(低炭素)地域社会づくり

- 持続可能な開発 (SD)
(*Sustainable Development*)
- 持続可能な開発のための教育 (ESD)
(*Education for Sustainable Development*)
- 環境も、平和も、福祉も、ジェンダーも
- 価値観、多様性、共通理解、支えあい …
- 根っこは同じ！ 「持続可能な社会の構築」へ
- 「共通だが、差異のある責任」に気づくこと！





THE END

ご清聴ありがとうございました。